

目指す学校像 1

一人一人の児童を大切に
➡児童にとり、楽しく、魅力のある学校

目指す学校像 2

学び合い・高め合うことができる学校
➡児童にとり「できる喜び」「分かる楽しさ」を
味わえる学校
➡教職員にとり、明るく、働き甲斐のある学校

目指す学校像 3

保護者・地域を大切に
➡保護者、地域に開かれた学校
ほこりがもてる学校・信頼される学校

目指す学校像 4

組織体としての機能を充実する学校
➡教職員の協体制、組織体としての機能が活
性化し充実している学校

学校の教育目標(目指す子供像)

- ① 「思いやりがあり やりぬく子」の育成を教育活動の重点目標とし、児童同士、教師と児童等、様々
な豊かな関わりの中で望ましい人間関係を築くことができるよう学習指導や生活指導、人権教育を充実
させる。人権尊重の精神の下、体験学習を多く取り入れた授業や資料・教材を活用し指導の工夫を図
り、思いやりの心を持ち、互いに励まし合い、助け合い、高め合える子を育成する。
- ② 「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わわせる授業を構築する。児童の興味や関心に応じた学ぶ喜びを
味わわせることのできる授業を工夫・改善する。生涯学習やキャリア教育の視点から、基礎的・基本
的な知識・技能の確実な習得を図ると共に習得したことを活用し、思考力・判断力・表現力を育成する。
また言語活動を重視した学習過程、個に応じた指導を取り入れ言語力の向上を図る。
- ③ 心と体の健康づくりを基本とし、体力の向上や心身の健康の保持増進に努めると共に自己の課題を粘
り強く追及するたくましい精神力を培う。

よく学び 考える子(知) 思いやりがあり やりぬく子(徳) 明るく 元気な子(体)
(学校重点目標)

＜学校経営の基本理念＞

“豊かな人間同士のふれあいを基盤に、この学校で学ぶことを通して、この先生に出会えて良かったと、子供
からも保護者からも思われる学校でありたい”。

児童にとり小学校時代における教師との出会いは生涯に関係する大きな事柄である。児童、保護者、教職員
を含めた人間同士の触れ合いを大切にする学校づくりを推進していく。

児童は「地域の宝」「日本の宝」である。教職員一人一人が自己啓発・自己研鑽に努めると共に、互いの力
を磨き合い、学校が一体となって児童のために充実した教育活動を展開していく。

経営目標:重点目標と方策

●評価:1年間の教育活動を振り返り年度末に自己評価します。

学校教育目標「よく学び 考える子」の実現

評価

目標1・2・4 児童一人一人の課題の明確化・改善(各種学力調査の分析)

目標➡「書く力」:国語タイムの活用。作文指導、一言日記指導、授業後の感
想等、様々な機会(専科授業等)を通じて「書く力」を育成。
「聞く力」:全校朝会(校長講話)終了後、「今日の話」を振り返り、メモ(校
長室前に掲示板)。保健版を毎朝、校長室へ(今日の話を質問)。

目標5 第二小学校スタンダード充実・「授業理解」肯定的評価(目標 85%超)

目標➡「授業が分かる」肯定的評価:4～6年生➡目標:85%以上
「分かりやすい授業」肯定的評価:保護者➡目標:85%以上
「適正な評価」肯定的評価:保護者・児童➡目標:85%以上

目標3・6 達成感・満足感・成就感(校長室検定:九九・都道府県・県庁)

「目標に向けて努力する」「自分自身へチャレンジする」。目標の明確化。
➡漢字検定の活用(学校運営協議会委員協力)
受検率:R2:47% R3:45% R4:43% R5:目標 45%以上
合格率:R2:91% R3:88% R4:86% R5:目標 85%以上

今年度の取組目標と方策(目指す学校像) 1・2

評価

目標1 一人一人の児童を大切に
【「適正評価・授業評価」肯定的評価】 【「落ち着いて学習できる」肯定的評価】

目標➡保護者:適正評価:目標 85%以上 5～6年生:目標 85%以上
保護者:授業評価:目標 85%以上 4～6年生:目標 85%以上

目標2 学び合い・高め合うことができる学校

目標➡ちょこっとOJT(教員相互の授業参観)。互いの授業を見合い「良い点」
を自分の授業に取り入れる等、授業力向上・指導力向上システム構築
(一人1回以上)。情報教育担当によるパソコン研修(スキルアップ)。
➡副担任制・一部教科担任制の充実・発展(全学年配置)。複数教員が児
童とかかわり児童の新たな一面発見。積極的な児童理解の推進。
➡校長室日より 80 号以上発行。最新の教育事情を迅速に紹介。

評価

学び合い・高め合う(八王子市教育委員会研究指定校「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童・生徒の育成 ～義務教育9年間の系統的・継続的な学習指導の充実を通して～」

評価

目標➡ユニバーサルデザイン(焦点化・視覚化・共有化)の授業構築。令和2年度「アクティブ・ラーニング推進校(研究指定校)」としての研究成果生かす。

目標➡研究指定校(「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童・生徒の育成 ～義務教育9年間の系統的・継続的な学習指導の充実を通して～」)の取組。
東京大学大学院教授による研修会実施(年2回)。小中教員による合同研究授業準備(年3回)、研究授業実施(年 10 回以上)。

目標➡「聞く力」「書く力」の育成。1 年生から英語活動(大学生ボランティア)、1 年生から6 年生の系統的外国語教育構築。日常的な英語活動充実。

学校教育目標「思いやりがあり やりぬく子」の実現

評価

目標1・7・10 豊かな関わりの中における望ましい人間関係

目標➡異年齢交流の推進(友だち班活動)。互いに「認め合い」「高め合う」望ま
しい人間関係づくりを通じて、高学年児童には自己有用感(「頼りにされ
ている」)、低中学年児童には高学年児童への「あこがれ」の気持ちが芽
生える。本校の伝統を充実・発展。

目標3・4・8・9 道徳授業の充実 学校・家庭・地域が関わる児童の健全育成

目標➡道徳授業地区公開講座(全学級公開授業実施)。スクールカウンセ
ラーによる 4 年生以上の児童全員面接実施。「いじめ」未然防止・
早期発見・対応。相談できる大人の存在(3 人以上)。

目標2・5・6 副籍交流・交流学習の積極的推進

目標➡「地域で共に生きる仲間」。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しな
がら実施。間接交流(学校日より配付・お手紙交流等)、活動内容工夫。
交流を通して互いに支え合い生きることの大切さ。地域の交流広がり。
地域の仲間として交流継続。令和5年度も交流継続。
目標➡特別支援学級(知的固定学級)と通常の学級との日常的な交流活動。

今年度の取組目標と方策(目指す学校像) 3・4

評価

目標3 保護者・地域を大切に

目標➡教育ボランティア(英語活動・お琴指導・そろばん指導・九九指導・キャリ
ア教育等)、安全ボランティア等、地域人材・外部人材との積極的連携推
進。地域人材・外部人材等との連携実施。
目標➡HP毎日更新。学校日より、学級通信等による積極的情報発信。

目標4 組織体としての機能を充実する学校

目標➡学校評価を年2回実施。学校日より・本校HP等を活用し学校
評価結果・分析報告。自由記述は全て公開(HP)。
目標➡「担当・主任・委員長・主任教諭・主幹教諭・副校長・校長」(決済)。
目標➡生活指導部、いじめ対策委員会、校内支援委員会、スクールカウンセラ
ー、関係諸機関等の連携。組織的対応の充実・工夫、課題解決。

評価

◎学級数:14 学級 ◎児童数:302 人
(含特別支援学級:3 学級) (家庭数:244 人)
◎特別支援教室拠点校 (令和4 年度より)

〔経営計画5 年目の重点〕

◎居心地のよい・安心できる場所のある学校づくり

◎基礎的・基本的学力(熟度目標間)の向上と習熟

◎「いじめを絶対に許さない」組織的対応によるい
じめ防止対策の取組。教職員相互の情報提供・情
報共有

◎教育活動の積極的な公開と情報公開による「地域
に開かれた学校づくり」

◎教員の授業力向上(研究授業・OJT の活用)

◎特色ある教育活動(異学年交流、低学年からの英
語活動、保幼小連携、副籍交流、地域行事参加)

◎コミュニティ・スクールの推進・充実

◎副担任制・教科担任制の充実・発展

◎義務教育学校開校に向けた準備(研究指定校)

小中一貫教育推進(第二小学校・第四中学校の連
携強化)。小中合同研究授業の実施。交流・合同
活動等、小中一貫教育グループの一体化。

●令和4年度東京都教育委員会表彰(健康増進功労)受賞(都内小学校2校)
●令和4年度八王子市学校保健優秀校受賞(2 年連続)

学校教育目標「明るく 元気な子」の実現

評価

目標2 小中一貫「学習・生活スタンダード」の活用・あいさつの励行(目標 85%超)

目標➡保護者:肯定的評価の目標 85%超(R4 平均 91.5%)
児 童:肯定的評価の目標 85%超(R4 平均 93.2%)

目標1・4 「外で元気に遊ぶ」肯定的評価(二小レガシー・異年齢交流)

目標➡「一校一取組運動」短縄・長縄跳び月間、マラソントイム等取組。二小
レガシー(運動会:聖火リレー)・「二小タイム」取組、体を鍛える活動充実。
➡体力調査結果:R4…96 測定項目中、56 項目で都平均超。握力、上体
起こし、長座体前屈、20mシャトルラン、ソフトボール投げ:半分以上の学
年で都平均超。敏捷性や巧緻性(運動を調整する力)それらにかかわる
体の使い方に課題。「二小タイム」「体育授業における取組」充実。

目標3 食育・健康安全教育の推進、健康でたくましい心身の児童育成

➡栄養士による食事マナー、食器の取扱等を全学級説明(毎日見回り)。
地場野菜・地方食材使用等は放送・学校だよりにて広く周知。
➡マスク・手洗い・うがい・栄養等の保健衛生等説明。日常的健康管理。
➡アレルギー対応事故防止の徹底。教職員研修の充実。

評価

中・長期的目標と方策(特色ある教育活動の推進)

目標(1)・(14) (2)・(10) (4)・(6)・(12) 安心安全な学校づくりの推進(目標 85%超)

目標➡「いじめ防止への対応」肯定的評価 ※「いじめは絶対に許さない」
5～6 年生:目標 85%以上 強いメッセージの発信継続。
保護者:目標 85%以上 校長講話、学級指導有効。

目標➡「友達をいじめることなく大切にしている」肯定的評価(目標 90%超)
1～3 年生:目標 90%以上% 4～6 年生:目標 90%以上

目標➡ふれあいアンケート(年3 回)・いじめ防止授業、道徳授業地区公開講座
(全学級公開授業)、いじめ対策委員会、SC の4・5・6 年生児童全員面
接、ふれあいメッセージ作成(全校児童)等、学校全体・組織的対応。

目標➡アレルギー対応研修会実施、マニュアル作成・常備(各教室)。

目標➡市・町会・地域・中学生ボランティア等:学校地域防災訓練。

目標(2)・(1)・(7) 「認め合い」「高め合う」人間関係育成(異年齢交流)

目標➡6 年生は自己肯定感やリーダーシップ能力向上。自己有用
感(自分は頼りにされている)の芽生え、自尊感情の高まり。

目標➡5 年生は「この学校の代表になる」という主体性や溢れるやる気。下学
年にはフォロワーシップ能力が芽生える機会。異学年交流は第二小
学校の「特色ある教育活動」の一つであり伝統的活動(年4 回以上)。

評価